

## 第6学年東組国語科

「主張に説得力をもたせる工夫を見付けよう

～『笑うから楽しい』『時計の時間と心の時間』～

実態把握資料

学習指導者 東 泰右

### 1 「さ・ぬ・き力」(非認知能力)に関する学級(34名)の実態

授業づくりの重点項目		
<p>社交性</p> <p>さ力</p> <p>共感性 協調性</p> <p>「社交性」の自覚度が高くなり高く、話し合いを積極的に行うことができている。特に、自分で相手を見つけて考えを聞きに行く自由交流の際に、活発に話し合いができている。一方で、普段の交友関係は固定化されてきており、新しいつながりを作ろうとする姿はあまり見られない。</p> <p>「共感性」「協調性」の自覚度も高く、相手の立場に立って考えたり自分とは違う考えを受け入れたりできている。</p>	<p>目標への情熱</p> <p>ぬ力</p> <p>粘り強さ 忍耐力</p> <p>言語活動に取り組む際は、これまでに学んだことを生かして自分の考えをまとめたり表現したりと、粘り強く取り組むことができている。その一方で、表現物を作る際に、あまり時間をかけずに簡単にまとめて提出するなど、意欲の低い子供もいる。</p> <p>「忍耐力」の自覚度は少し低くなっており、自分の苦手なことや興味の無いことに関してはあまり関心がもてず、集中が続かない子供が多い。</p>	<p>自分を信じる力</p> <p>き力</p> <p>レジリエンス 自制心</p> <p>「自制心」の自覚度が高く、学習計画に沿って毎時間の課題に真剣に取り組んでいる子供が多い。</p> <p>一方で、「自分を信じる力」の自覚度が低くなっている。ペアやグループで交流する際に自分の考えを話すことができても、全体ではなかなか発表できない子供が多いことから、自分の考えに自信がもてなかったり、失敗を恐れたりする傾向があると考える。</p>

### 2 教科に関する学級の実態

- ・ 説明文の学習は好きである。…肯定的(22名)、否定的(12名)
- ・ 説明文を読むときに意識していることについて
  - ① 筆者の主張は何かを考える(7名)
  - ② 内容が理解できるまでじっくり読む(4名)
  - ③ 問いと答えを見付ける(3名)
  - ④ 序論・本論などのまとまりを意識する(1名)
  - ⑤ 特になし(4名)
  - ⑥ その他(15名)
- ・ 説明文の学習が日常生活に役立ったことがある。
  - ① 内容面について(6名)
  - ② 読みの力について(3名)
  - ③ 特になし(24名)
  - ④ その他(1名)

### 3 個別支援が必要な子供の実態

A児…自分の関心のある事に対して、意欲的に取り組むことができる。全体への指示だけでは理解が不十分なことがあるため課題解決の見通しがもてず、途中で意欲が下がってしまうことが多い。また、説明文を読む際に、どんなことを意識しながら読むとよいか分かっていない。

第6学年東組 国語科学習指導案

「主張に説得力をもたせる工夫を見付けよう

～『笑うから楽しい』『時計の時間と心の時間』～

学習指導者 東 泰右



1 本単元で目指す『自ら伸び続ける子供』の姿

【詳細はこちら】

本単元では、二つの論説文から学んだ、主張に説得力をもたせるための工夫を生かして「私の主張」を伝え合うという言語活動を設定する。お試し「私の主張会」を行い、感想を交流することで、「自分の主張で相手を納得させるためには、どんな工夫が必要なのかな」という思いをもった子供たちは、筆者の主張を伝えるための工夫がされている二つの論説文を読み、論の進め方について考えていく。主張に説得力をもたせる工夫を見付ける際は、「もし、四つの事例がこの順序ではなかったら…」などの視点で、筆者の論の進め方について試行錯誤しながら考えていく。例えば、「もし、四つの事例の中で事例①が最初でないと、読んでいる人に共感してもらいにくくなるんじゃないかな。事例①は、ゲームのように身近なものを例に挙げているから、最初にこの事例を挙げることも説得力をもたせる工夫の一つじゃないかな」「確かに。それに比べて事例②と③は、内容が少し難しいけれど、図表を入れて科学的な実験の結果を示しているから説得力があるね」「なるほど。もし、事例②と③が先にあると、少し難しく感じるかもしれないね。事例に共感してもらえると、主張に説得力が増すから、やはり事例の順序を工夫することは大切だね」などと、筆者の論の進め方について考えたことを交流することで、主張に説得力をもたせるための工夫について理解を深めていくであろう。このように、論の進め方について考えてきた子供たちは、主張に説得力をもたせる工夫を「私の主張」に生かそうとしたり、今後、他の論説文の論の進め方を意識しながら読んだりしていくだろう。

2 単元計画と働きかけの概要（本時 5/7）

㊦：価値付け

次	学習の流れ	働きかけ
二	<p>① 主張に説得力をもたせるための工夫とは何だろう</p> <p>「いちばん大切な教科は〇〇だ」というテーマで、お試し「私の主張会」を行い、感想を交流することで、主張に説得力をもたせる工夫に目を向ける。その後、筆者の主張を伝えるための文章である論説文について知り、二つの論説文から学んだことを生かして、もう一度「私の主張」を伝え合うという単元のゴールを設定し、学習計画を立てる。</p>	<p>見通し 情【説得力マスターへの道】</p> <p>②～⑦ 単元のゴールと学習計画を示し、本時の課題設定の理由を問うことで、単元のゴールと本時の学習課題のつながりを感じられるようにする。㊦単元のゴールと本時の課題のつながりを意識して学習に取り組もうとしている姿に共感する。</p>
	<p>② 『笑うから楽しい』にはどんな工夫があるのだろうか</p> <p>『笑うから楽しい』を読んで文章構成を捉え、事例を挙げる効果について考えたことを交流し、論の進め方について考える。</p>	<p>行動 社【いろんな見方イム】②④⑤</p> <p>筆者の論の進め方に対するそれぞれの考えを一覧で見られるようにし、考えたことを自由に交流する時間を設ける。㊦いろいろな考えの友達と進んで交流したことで、論の進め方についての理解が深まったことを感じている姿を称賛する。</p>
	<p>③ 二つの論説文を比べてみよう</p> <p>『時計の時間と心の時間』を読み、『笑うから楽しい』と比較しながら文章構成を捉えることで、「事例の順序を工夫することの効果」、「主張でも事例でもない段落の役割」に着目する。</p>	
三	<p>④⑤ 『時計の時間と心の時間』の工夫について考えよう</p> <p>事例の順序を工夫することの効果や、主張と事例以外の段落の役割について考えたことを交流し、論の進め方についての理解を深める。</p>	<p>振り返り 信【自分を見つめタイム】</p> <p>②～⑤ 三つの観点を基に、学び方のよさを振り返る時間を設ける。</p> <p>㊦自分の学び方を想起して成長を感じている姿や、次頑張りたいことを見いだしている姿を称賛する。</p>
	<p>⑥⑦ 学んだことを生かして、もう一度、「私の主張会」をしよう</p> <p>二つの論説文から学んだ工夫を生かして、自分の主張に説得力をもたせるための事例を調べたり、考えたりしながら「私の主張」としてまとめ、伝え合う練習をする。第1時と同じテーマで再度「私の主張会」を行う。その後、本単元の学習を通しての自分の成長や、今後の生活に生かせそうなことについて振り返る。</p>	

3 本時の学習

目 標	『時計の時間と心の時間』の二，七段落の役割を考えることを通して，主張に説得力をもたせるための論の進め方について理解を深めることができる。
--------	--

学習活動と働きかけ	主な子供の意識			
見 通 し	1 学習課題を確認する。 【説得力マスターへの道】 【目標への情熱】	<p>これまでは、『笑うから楽しい』と『時計の時間と心の時間』を読んで，主張に説得力をもたせるための工夫を見付けてきたよ。</p> <p>今日は，主張でも事例でもない段落にはどんな役割があるかを考えたいな。</p> <p>新しい工夫が見付かったら，「私の主張会」に生かせようだよ。</p> <p>二，七段落の役割が分かれば，「説得力マスター」に近付けようだよ。</p>		
	<b>主張でも事例でもない段落の役割について考えよう</b>			
行 動	2 二，七段落の役割について考え，交流する。 (1)個人で	<p>もし，二段落や七段落が無かったら…，と考えてみよう。</p> <p>もし，二段落が無いと，「心の時間」がどんなものか分からないから，その後の事例の説明が伝わりにくくなるよ。つまり，二段落は「事例へのつなぎ」という役割だと思うよ。</p> <p>もし，七段落が無いと，その前の四つの事例を通して筆者が何を伝えたかが分かりにくくなるよ。つまり，この文章での七段落の役割は，「四つの事例のまとめ」じゃないかな。</p> <p>もし，七段落が無かったら，八段落の『時計の時間』を道具として使う…という筆者の主張が何のことか分かりにくくなるよ。七段落は「主張へのつなぎ」という役割だと思うよ。</p>		
	(2)自由に交流 【いろんな見方タイム】 【社交性】	<p>他には，どんな役割が考えられるかな。友達の考えも聞いてみたいな。</p> <p>七段落があることによって，八段落で筆者が言っていることの意味がよく分かるんだね。自分ではよく分からなかったから，考えを聞いて納得できたよ。</p> <p>なるほど。四つの事例をまとめることによって，最後の主張につなぐ役割があるんだね。事例のまとめだけだと思っていたけれど，確かに，主張にもつながっているね。</p> <p>「〇〇へのつなぎ」という考えは僕の考えと似ているね。二段落も七段落も，筆者の主張をうまく伝えるために大事な役割を果たしているんだね。</p>		
	(3)再考する	<p>七段落には，「主張とつなぎ」役割があることが新しく分かったよ。</p> <p>二段落は「説明」で，七段落は「主張と事例のつなぎ」に変えたよ。</p> <p>友達と話して，七段落は，やはり「主張へのつなぎ」だと思えたよ。</p>		
	(4)全体交流	<p>主張でも事例でもない段落があるからこそ，四つの事例と主張をつなぐことができるんだね。これが出来ると説得力がさらにアップしそうだね。</p>		
振 り 返 り	3 本時の学習を振り返る。 【自分を見つめタイム】 【自分を信じる力】	<p>今日の授業で，いちばんよくできたことはどれかな。</p> <p>今日は，積極的に友達の考えを聞きに行けたよ。次の時間は，自分の主張をしっかりと伝えたいな。</p> <p>今日は，積極的に友達の考えを聞きに行けたよ。次の時間は，自分の主張をしっかりと伝えたいな。</p> <p>今日の目標だった「友達の考えをしっかりと聞く」が達成できたから，次も同じように頑張りたいな。</p> <p>次は，これまでに見付けた工夫を生かして「私の主張」をまとめたいな。</p>		

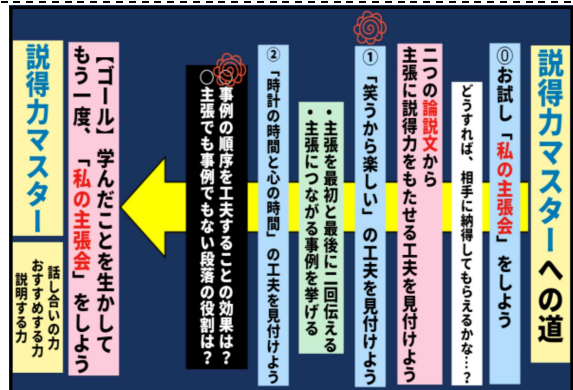
評 価	二，七段落の役割について考えたことを進んで伝えたり聞いたりして，主張でも事例でもない段落が果たしている役割を理解するとともに，「私の主張」を伝えることへの自信を高めている。 <span style="float: right;">【方法：記述・発言】</span>
--------	---

働きかけの詳細資料

～見通し～ 情【説得力マスターへの道】（2～7時間目）

二つの論説文から主張に説得力をもたせる工夫を学び、「私の主張会」をするという単元のゴールを位置付けた「説得力マスターへの道」という学習計画を学習支援アプリで作成し、子供と共有しておく。

本時では、大型モニターに映した「説得力マスターへの道」を示しながら、前時までの学習を振り返る。その後、前時の終わりに設定した本時の学習課題を確認する。課題設定の理由を問い、全体で共有することで、本時の課題解決が単元のゴールにつながっていることを感じられるようにする。

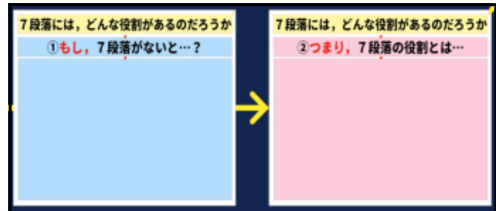


【説得力マスターへの道】

**価値付け** 課題設定の理由を単元のゴールと関連付けて考えられている姿を「主張でも事例でもない段落の役割が分かったら、自分の主張に生かせそうだね」などと共感する。

～行 動～ 社【いろんな見方イム】（2・4・5時間目）

本時では、学習支援アプリ上の「もし、つまりシート」を用いて、「もし、二（七）段落が無かったら…」と考えることで、主張でも事例でもない段落の役割を捉えていく。その際、各段落の要点をまとめたシートを配布し、段落ごとのカードを操作しながら、二（七）段落が無い状態の文章のつながりについて考えられるようにする。その後、主張でも事例でもない段落の役割について考えたことを書いたカードを集約して一覧で見られるようにし、気になる考



【もし、つまりシート】

えについて自分から友達に聞きに行ける時間を設けることで、多様な考えに触れながら、論の進め方についての理解を深められるようにする。交流前には、二段落と七段落それぞれについて考えを伝え合う、自分と異なる考えの友達がいれば優先的に聞きに行くという二つのルールと、進んで交流することによって自分の考えを深めたり広げたりするという交流の目的を確認しておく。その後、友達と交流したことを基に、論の進め方について再考する時間を設ける。

課題解決の見通しがもちにくいA児には、個別に声掛けを行う。自力解決の場面では、必要に応じて考えをつくる手順を再確認し、交流の際は、A児のカードへの記述を基に、まずは誰に考えを聞きに行くときよいか助言することで、見通しをもって学習に取り組めるようにする。

**価値付け** 再考後に、筆者の論の進め方についての考えが深まったことを確認し、「いろいろな考えの友達と進んで交流できたから、二、七段落の役割についての考えが深まったんだね」などと称賛する。

～振り返り～ 信【自分を見つめタイム】（2～5時間目）

学習支援アプリを用いて、「考えをつくる」、「考えを伝える」「考えを聞く」という学び方に関する三つの観点の中から、本時いちばんよくできたと思うものを一つ選ばせることで、本時の頑張りを想起して、自分の成長を感じられるようにする。その後、振り返りを基に「次頑張りたいこと」を記述させる。また、振り返りカードを集約することで教師の手元で見られるようにしておく。記述内容を基に意図的指名を行うことで、自分の成長を感じられている子供の発言を全体で共有する。

振り返りカード 5月〇日	
三つの中から、いちばんよくできたと思うところを一つ選んで○をつけよう	
言葉を手がかりにして、自分でじっくり考えた	<input type="checkbox"/>
自分の考えをしっかりと相手に伝えた	<input type="checkbox"/>
自分の考えをよりよくするために、友達の考えを聞いた	<input type="checkbox"/>
・今日の振り返りをもとに、次がんばりたいことを書こう。 ・上の三つの中から選んでも、それ以外のことで書いてもOK! (例)今日は○がよくてきたから、次は(も)△△をがんばりたい。	
振り返りの記述	

【振り返りカード】

**価値付け** 振り返りの記述後に、「今日の学習を振り返って、自分の成長を感じられているね」「次はもっとこうしたいと、頑張りたいことを具体的に考えられている人もいるね」などと称賛する。